

一般質問 (要旨) 市政について問う

★…一問一答方式

- 1 安東 太郎 (たちかわ自民党・安進会)
 - ①子供の居場所づくりについて
 - ②立川駅周辺のまちづくりについて
 - ③傾聴ボランティアについて
 - ④終末期医療について
- 2 伊藤 大輔 (民進党・市民フォーラム)
 - ①学校介助員制度
 - ②学校給食アレルギー対応
 - ③2020年オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み
- 3 若木 早苗 (日本共産党) ★
 - ①いじめをなくすための取り組みや対応について
 - ②国民健康保険制度について
 - ③窓口対応の改善について
- 4 松本 まき (民進党・市民フォーラム)
 - ①富士見町地区の新しいまちづくり構想について
 - ②地域型保育給付事業について
 - ③防災対策の現場や避難所における女性リーダーの重要性
 - ④住み慣れたまちで豊かな老後を送るために…高齢者事業について
- 5 江口 元気 (たちかわ自民党・安進会) ★
 - ①家庭教育支援について
 - ②単独事業と補助事業について
 - ③スポーツ施策について
 - ④住みたい街ランキングについて

- 6 木原 宏 (たちかわ自民党・安進会) ★
 - ①武蔵砂川駅周辺のまちづくりについて
 - ②小中学校の校庭における授業外利用について
- 7 梅田 春生 (民進党・市民フォーラム)
 - ①市内の喫煙対策
 - ②防災用井戸について
- 8 福島 正美 (公明党) ★
 - ①若者の自立支援について
 - ②防災マニュアルの見直しについて
 - ③公共空間としての道路使用について
- 9 門倉 正亨 (公明党) ★
 - ①子育てしやすい立川をめざして
 - ②安心を生む福祉施策について
 - ③道路・通学路の交通安全の確保について
- 10 中町 聡 (日本共産党) ★
 - ①市内の公園について
 - ②鳥類による被害について
 - ③都市計画道路3・3・30号線について
- 11 高口 靖彦 (公明党) ★
 - ①健やかに子ども達が育っていく為に
 - ②砂川地域のまちづくりについて
- 12 谷山 きょう子 (立川・生活者ネットワーク) ★
 - ①積立金を適正な見込みに立った、適正な予算執行に
 - ②ICT教育の推進には、「情報活用能力」や「確かな学力」を、まず小学校時代に、本による調べ学習から
- 13 山本 みちよ (公明党) ★
 - ①誰もが安心して暮らせる支援体制について
 - ②若葉町のまちづくり 今後の課題と展望について
- 14 永元 須摩子 (日本共産党) ★
 - ①子育て支援について
 - ②道路等の安全対策と砂川七番モノレール駅下の駐輪場の早期設置について
 - ③学施設の保全計画について
- 15 大沢 純一 (公明党) ★
 - ①自殺対策について
 - ②ICT技術を活用した市民協働について
 - ③災害時の被災者支援について
- 16 太田 光久 (民進党・市民フォーラム)
 - ①医療・介護制度について
 - ②生活保護について
 - ③障害福祉について
 - ④通学路対策について
 - ⑤空き家対策について
- 17 松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)
 - ①市政の歴史の偉大さについて
 - ②プレミアム婚姻届のことについて
 - ③富士見町周辺地域のまちづくり推進状況について
- 18 瀬 順弘 (公明党) ★
 - ①子どもと出かけたいまち立川へ
 - ②保育施設、学童保育所の待機児童について
 - ③運動に親しむ環境の整備について
 - ④下水道の周知について
- 19 上條 彰一 (日本共産党) ★
 - ①憲法を生かす市政運営について
 - ②生活保護行政について
 - ③公園・緑地・道路等の樹木の管理について
 - ④防災対策について
- 20 稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク) ★
 - ①「水循環」「雨水活用」によるまちづくりについて
 - ②「8年後の高齢化のピーク」へ向かう健康推進のあり方について
 - ③市民への情報提供の「立川市掲示板」について
- 21 中山 ひと美 (たちかわ自民党・安進会)
 - ①まちづくりについて
 - ②教育行政(学習指導要領の改訂案に対する対策)について
 - ③職員の人材育成について
- 22 大沢 豊 (緑たちかわ) ★
 - ①生活保護・生活困窮世帯に関する課題
 - ②障害福祉事業に関する課題
 - ③職員の人材育成について

○議長、副議長及び監査委員は、その職務の性格上、一般質問を行っていません。



学校介助員制度、指示系統を明確に 対象校の統一的な対応を確認する

伊藤 大輔 (民進党・市民フォーラム)

問 学校介助員制度において、関係者間の連携が十分に取れず、子どもが不利益を受けていることがあります。指示系統を明確にした組織を作るべきです。また介助にあたっては、時間のみ支払われる、時給千50円では安定した職業とは言えません。事業所との契約内容など介助員が収入面で安定する方法を検討すべきです。介助員の職場環境、生徒の学校生活や学習面の課題は誰が把握し、介助員は誰に相談や報告することになっているのか。

答 介助に関する指導などを行う体制が不足していた点については、現在は教育支援相談員を配置し、学校、保護者、本人、事業所の合意形成を図り支援を進めています。一方で、介助の質の維持向上や命令系統の明確化は課題の一つだと認識しています。委託単価などは事業所からも見直しの要望があり、検討したい。介助員が誰に判断を求めべきかなど、本年度中に対象校の管理職を集めた連絡会を開催し、統一的な対応を確認します。

生前の意思表示「リビングウィル」について 終末期医療体制に関する多職種研修の中で議論

安東 太郎 (たちかわ自民党・安進会)

問 終末期の在宅医療が進められる中、医療と介護サービスの連携が重要です。市は、在宅医療・介護連携推進協議会を設置し協議を進めています。協議の進捗状況と取り組みについて伺います。また穏やかな最期を迎えるために、延命治療などについて本人の意思を明確に記しておくリビングウィルについて相談されたときは、かかりつけ医をはじめとした医療・介護従事者がしっかりと応えられようになっているでしょうか。

答 協議会では医師会などの関連機関と連携し、在宅医療と介護の連携のための体制整備に取り組んでいます。終末期の在宅生活支援には、互いの制度の理解や、顔が見える関係づくりが必要であり、既に実施している多職種研修を目的別、対象別に分類し、市全体の計画に位置付けます。今後、みとりを含めた在宅での終末期医療体制に関する多職種研修を行うこととなれば、リビングウィルの作成に関する議論もされると考えています。

富士見町のまちづくりについて 引き続き都に都市計画道路等の早期事業化を要請

松本 まき (民進党・市民フォーラム)

問 富士見町のまちづくりについて、34号中央南北線の整備、JR青梅線の立体化などを含めて都市計画マスタープランには書かれていますが、その見直しについて伺います。特に都など関係機関への要請に対する回答内容をお示しください。また、暮らしやすいまちづくりには、公共交通機関の案内などのサインが欠かせませんが、西立川駅周辺にはサインや案内板がほとんどありません。今後の計画は。

答 富士見町地区については、都市計画道路立3・1・34号中央南北線、JR青梅線の鉄道立体化について、市長自らの要請や市長会等を通じて都に事業促進を要請しており、第4次事業化計画の中で優先整備路線に位置付け検討を進めていく、また鉄道立体化事業は、関連する道路整備等を踏まえ検討するという回答です。サイン等のあり方については、誰もが暮らしやすい市街地の形成に向け、市全域で検討を進めていきます。

教員の多忙化解消を 調査研究していきたい

若木 早苗 (日本共産党)

問 相次ぐいじめ事件の報道を聞いて、認識を誤った対応や隠ぺい体質が悲痛な結末を止められなかった要因と感じています。こうしたことを防ぐためには、先生が一人一人の生徒に迅速に、丁寧に、徹底して向き合える時間や体制が必要です。国も学校現場の業務適正化を推進するということです。教員の多忙化の解消に向け、労働時間の実態を把握するには、タイムレコーダーの導入が一番よいのではないのでしょうか。

答 現在、学校で勤務の際は出勤簿に印を押す形で行い、タイムレコーダーは使用していません。国の調査で、教員の勤務時間は10年前に比べ増大し、過労死ラインに達するものが6割近くを占めることなどが公表されました。教員の勤務実態を正しく把握することは、教員の健康を守るとともに、より適正な児童生徒指導につながるものと認識しています。今後、教員の多忙感が解消できる取り組みについて、調査研究していきたい。